

会 議 録

会議名	令和4年度第1回行政改革推進委員会(書面会議)
出席者	委員:金網房雄委員、丸橋唯郎委員、浅川榮治委員、田倉昌美委員、鶴岡英樹委員、平野文彦委員、栗原正志委員、小山百合子委員、石渡宏委員
議題	1 令和3年度行政改革推進計画の取組結果について
配付資料	会議資料 ○令和3年度行政改革推進計画取組結果(案)
会議概要 別紙 令和3年度取組結果についての意見 のとおり	

令和4年度 第1回行政改革推進委員会 令和3年度取組結果についての意見

項 目	意 見 等	回 答
全体・総括表 (表記の修正)	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページのページ番号が漏れている。 ・「取組」と「取組み」の表記が統一されていない。今までの公式文書において「取組」で統一してあるため、総括表の5か所を取組に修正すべきと考えます。 ・総括表③「電子申請」は個票に合わせて「オンライン申請」にすべきと思います。 ・総括表⑨「収入」は、個票に合わせて「ネーミングライツ導入による収入」にすべきと思います。 ・総括表の歳出効果額内訳の項目番号は「8」ではなく「7」の間違いです。 ・総括表②の指標、市民アンケートの欄、カッコ内の「総合満足度及び手続の所要時間の」は、事業の個票欄に一切記載されていないのに唐突に総括表に出てくるのはおかしい。削除すべきと考えます。 	ご意見のとおり修正いたしました。
総括表	総括表の「達成」欄の○印についてですが、何を持って○と評価したのか、評価の方法なり基準の考え方を表の欄外に簡潔に説明すべきと考えます。	評価基準としては、目標値を達成していると判断したものを○として記載しております。
総括表	総括表の歳出効果額内訳の2つの項目については、効果額がマイナスである理由・原因と今後の期待値（効果額がマイナスにならないという想定）を項目番号ごとに欄外に言及しておくべきではないか、と思います。	ご意見のとおり修正いたしました。
3 行政手続きのオンライン化	目標に比べ、実績値が低い。理由を明らかにし、4年度に達成できるように進めてください。来庁しなくても、手続きができれば、働き方改革にもつながる。	令和3年度に完了を予定していた14件については、基幹系システムと連携するためのシステム改修に係る補助金を活用するため、令和4年度に実施することとしております。
7 働き方改革の促進 (時間外勤務の縮減)	令和2年度の目標が53%になっていますが、前回の会議時に60%の記載間違いだったとの回答があったため、今回も直っていないのではないかと思います。	ご意見のとおり修正いたしました。
7 働き方改革の促進 (時間外勤務の縮減)	<p>各項目にわたり、詳細な取組み結果の分析がなされ、着々と行政改革推進がなされていると思います。</p> <p>問題点は、「やりがいがある」と答えた職員の割合が58%ということです。「やりがいがある」ということは、単に時間外勤務等の労働時間に直結するのではなく、日々の仕事の内容やあり方が、本当に市民のためになっているのかという根本的な問題があると思います。</p> <p>大切なことは、「やりがいがある」のアンケート内容項目をいくつか設定して、何が問題なのかをとらえ、働き方改革をしていくことが重要であると考えます。</p>	事務を進めるうえで留意してまいります。
7 働き方改革の促進 (時間外勤務の縮減)	「やりがい」を感じ、仕事をしている職員の割合が6割を切っていることは残念である。適材・適所を図ること、研修等で意識を高めること、一人に仕事が偏らないよう平準化に努めること等を進め、職員の意識向上に努めて欲しい。	事務を進めるうえで留意してまいります。
7 働き方改革の促進 (時間外勤務の縮減)	時間外勤務の増加をどう縮減するか、ICTを活用していても増加している原因をはっきりと確認していきたい。コロナが原因として挙がっているが、関係部署が多かったのか？ どの課が多く、どう対処していくのか具体的に進めて欲しい。それが、外部委託や非常勤の活用と関係してくると思う。	<p>令和3年度においては、主に新型コロナウイルス感染症対策における事務量の増加及び東京オリンピック・パラリンピックに係る事前キャンプの受入事務に係る事務量が増加したことが主な要因と推察しております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策における事務量の増加及び東京オリンピック・パラリンピックに係る事前キャンプの受入事務は、全庁で対応した業務もございました。</p> <p>今後も引き続き、各課の働き方改革や個人の働き方に着目したヒアリング、勤怠管理システムのデータの活用等、時間外勤務削減の取組を実施します。</p>